

令和3年度 学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	13		学校名	茨城県立小瀬高等学校			課程	全日制		学校長名	内桶 二郎					
教頭名	渡邊 英一		坂本 要				事務(室)長名			栗林 長武						
教職員数	教諭	18	養護教諭	1	常勤講師	1	非常勤講師	9	実習教諭、実習講師、実習助手	1	事務職員	3	技術職員等	3	計	40
生徒数	小学科	1年		2年		3年		4年		合計		合計(クラス数)				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
	普通科	25	3	15	8	13	17			53	28	81(3)				
	科															

2 目指す学校像

- 小瀬型学力を学校教育全体を通して身に付けさせる。
- ・生きる力を育み、心身ともに健全で調和のとれた人間形成のできる学校
 - ・生徒一人一人が確かな学力を身に付け、希望の進路を実現できる学校
 - ・社会の一員としての自覚を促し、社会規範の涵養を図る学校
 - ・明峰中とともに、地域に根ざした連携教育の研究を推進し、地域に貢献できる人財を育成する学校

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・入学段階で基礎学力の定着に課題がある生徒が多い。 ・義務教育段階の基礎的な学習内容を確実に定着させるとともに学習意欲を高め、高等学校の授業に円滑に移行させる指導をする必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の向上及びICT活用の推進 ・家庭学習の定着 ・魅力ある授業展開の工夫 ・個に応じた指導の工夫と探究的な学びの充実
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間を見通した計画を立て、進学、就職ともに3月末まできめ細かな指導を行った。就職内定率は18年連続100%を達成し、卒業生が国公立大学に1名合格した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路意識の高揚 ・早期からの進路に対する準備 ・希望する進路の実現
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に落ち着いた生活ができており、指導件数も少ない。通信機器の適切な使い方と交通事故防止に努める。 ・特別な支援を要する生徒への組織的なサポートが必要となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の育成と生徒への適切な支援 ・交通ルール遵守意識の高揚 ・情報端末活用上のモラルとルール
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度はコロナ禍のため、実施した行事に制限があった。 ・本年度は、コロナ禍における新しい学校行事の在り方を検討し、生徒が主体的に活動する場を設定する。 ・個々の活動を整理し、キャリア教育を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動及び学校行事への積極的参加を促進 ・生徒のリーダーシップの育成 ・キャリア・パスポートの活用

中高一貫教育	<ul style="list-style-type: none"> ・出前授業（スポット的授業）、部活動交流等の更なる充実を図るために、教職員の連携を密にして交流事業の充実を図る必要がある。 ・地域協働本部による放課後の学習指導等地域人材のコロナ禍での活用について検討する必要がある。 ・働き方改革の視点で、ICTを、今後も検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポット的授業の充実・改善 ・生徒交流事業の充実と地域貢献活動 ・相互授業参観による教員交流の充実 ・地域協働本部の活動の活用の在り方 ・業務の適正化 ・カリキュラム・マネジメントの充実
--------	--	---

4 中期的目標

<p>○シラバスに示した小瀬型学力の実現を目指す。（全教科で意識して指導する。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着と向上をはかり、生徒が自ら伸びようとする意識を持たせる。 ・ポストコロナ禍を見据えて、ICTの活用を推進し、探究的な学びを充実させる。 ・進路指導を充実させ、多様な生徒の進路希望を100%実現させる。 ・あいさつと制服の正しい着用習慣を確立させる。 ・生徒会各種委員会や部活動の自主的な運営を指導し、主体的に生きる力を育成する。 ・明峰中学校の再編整備等に対応した新たな中高連携を模索し、推進する。 ・情報発信及び広報を効果的にを行い、開かれた学校づくりと地域から信頼される学校づくりを推進して、志願者確保につなげる。 ・業務の適正化を図り、組織間の連絡を機能させ、効率性・生産性を高め、カリキュラム・マネジメントの充実を図る。
--

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
教科指導・学習指導 基礎学力の向上 ICT活用の推進 探究的な学びの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字、数学、英語の小テストを効果的に実施して学習意欲と基礎学力を向上させる。併せて、「主体的・対話的な深い学び」や探究多岐な学びを充実させる。 ・生徒が各種技能審査等に挑戦し、合格できるように指導する。 ・タブレットや電子黒板の活用を推進するとともに、オンラインを含め授業の進め方など、ICTの活用を研究する。
進路指導 希望進路の実現 体験的な学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・自己理解を深めるとともに将来の生き方や職業について考え、自己を生かした進路実現が達成できるよう導く。 ・キャンパス見学、職場見学、インターンシップなどの体験的な学習を通し社会に適應できる力を育む。
生徒指導 規範意識の向上 あいさつの励行 生徒のメンタル支援	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故防止に努める。 ・毎月服装指導を行う。頭髪をはじめ制服の正しい着こなしを生徒に定着させる。 ・登下校、授業開始と終了及び清掃時のあいさつの指導を徹底する。 ・生徒支援を軸にした、柔らかな生徒指導を充実させる。
特別活動 生徒の主体的な活動の促進 キャリア教育的視点を踏まえた特別活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の活動がより主体的になるよう、事前指導を行う。 ・新入生に入部を勧め、部活動をより活性化させる。 ・生徒会を主体とした球技大会・文化祭等を実施する。 ・社会で必要とされるスキルの育成等キャリア教育の視点を踏まえて体験的な行事を充実させる。

<p>連携型中高一貫教育 連携型中高一貫教育の推進 広報と志願者確保の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・明峰中学校及び近隣中学校、地域社会に積極的に情報を発信し、広報を充実させる。併せて、本校への信頼や関心を高め、志願者の確保に努める。 ・少子化に対応した連携事業・生徒交流を構築し、教科の各委員会を効率よく機能させる。 ・交流事業の充実により地域に貢献できる生徒を育成する。
<p>働き方改革 業務の適正化と組織内部の効率性の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における、ICTの活用や地域協働本部等の地域人材の活用方法の検討を進める。 ・業務の適正化を図り、組織内の連携を機能させ、効率性・生産性を高め、カリキュラム・マネジメントの充実を図る。